

Green Concert

リュートの会
グリーンコンサート

2009年5月4日 聖パウロ女子修道会・聖堂

第1部

1. 五十嵐春香 (19世紀ギター)
牛を見張れ.....L. ナルバエス
練習曲 Op. 35-22..... F. ソル
2. 朝倉靖雄 (バロックリュート)
クーラント / カナリ..... E. ゴーティエ
3. 後藤匡 (ルネサンスリュート)
A Galliard / The Lady Rich's Galliard /
Sir John Smith, Almain / Mrs. Winter's Junp /
Go From My Window.....J. ダウランド

4. 西野 辰子 (バロックリュート)
プレリュードイ短調 / アルマンド ゴーティエ氏
の1年の終わり イ短調J. ガロ
シャコンヌ イ短調C. ムトン

17世紀フランスのリュート奏者であるジャック・ガロ及びシャルル・ムトンは、共に「二人のゴティエ(エヌモン・ゴティエ、ドニ・ゴティエ)」の高弟です。この両ゴティエは、バロック・リュートの、いわゆる二短調調弦を確立した筆頭として挙げられるべき人物です。2曲目のアルマンドの標題は、ドニ・ゴティエを追悼したもの、との事です。

5. 岡沢道彦 (8コース・リュート)
ときめき、あこがれ、希望、魅惑の舞 -
挽歌、追憶、やすらぎ、シチリアーナ
.....A. ヴィヴァルディ

原曲はヴィオラ・ダ・モーレ協奏曲RV394, ヴァイオリン協奏曲RV335, チェロ・ソナタ RV43, ピッコロ協奏曲RV443, ヴァイオリン協奏曲RV178, チェロ・ソナタRV40, 合奏協奏曲RV87, フルート・ソナタRV49のそれぞれ第二楽章です。8コースから1コースへむかってソラレファラドミソとする私が考案した新調弦8コース・リュートのための独奏曲に仕上げました。曲のタイトルもシチリアーナ以外は私がネーミングしました。

《休憩》

第2部

6. 青山比呂乃 (ソプラノ)
渡辺マリ (ヴィオラ・ダ・ガンバ)
矢澤勝之 (アーチリュート)
Tell me, some pitying angel
Fairest isle H. パーセル

聖書に1つだけある少年イエス・キリストの物語。イエスの両親は祭りには毎年エルサレムへ詣でた。祭りが終わり帰路に着いたとき、12才のイエスはエルサレムに残っていたが、両親はそれに気づかず1日の道のりを行ってしまい、それから親類や知人の間を探し回ったが見つからず、探しながらエルサレムに引き返した。3日後、ようやく神殿にいるイエスを見つけた。(ルカ2:41-52) この歌は、行方知らずの息子イエスを心配する母マリアの歌です。受胎告知、王が生まれたと聞いて赤ん坊を殺させたヘロデ王、そして、これから起こるイエスの受難への道の予感などを織り交ぜ、歌は子どもを心配する母の思いのままで終わります。今回は、その後、子どもを見つけた母の安堵の気分をなぞって、ギリシャ神話の桃源郷の歌を続けてみます。(青山比呂乃)

7. 岡田 紀世史 (ルネサンスリュート)
ミレ・リグレ..... P. ファーレーズ
バスダンス ラ・プロッセ / バスダンス ラ・
マグダレーナ..... P. アテナヤン

- ファンタジア第5番 / オランダ伯爵のバッロ
とサルタレット..... S. モリナーロ

8. 中山早苗 (ルネサンスリュート)
2つのファンシー..... J. ダウランド

9. 小松 俊二 (ルネサンスリュート)
花の踊り / 新しいコントラバス / オリンピア
の輝き / ルクレチア婦人..... M. F. カローソ
グラティオーソ / 白い花..... C. ネグ
リ花の踊り..... M. F. カローソ

16世紀の北イタリアの舞踏家で音楽家だったカローソとネグリの二人の曲を選びました。各当時出版された舞踏本(「Il Ballarino」, 「Le Gratie d'Amore」)が残っており、その中に舞曲に沿った曲がリュート譜で併記されてます。あくまで舞踏が主ですが、愛らしく、シンプルで魅力ある旋律・舞曲が含まれてます。戯言(?)宮廷舞曲で神聖なる教会ではどうかと思いましたが、静々と歩むルネサンス舞踏をイメージしました。

10. 伊佐坂則彦 (バロックリュート)
組曲へ長調 Allemande, Courante, Sarabande,
Le Drole - Trio, Gigue E. G. バロン

11. 五十嵐 正明 (ピウエラ)
2つのパバーナ / 2つのファンタシア..... L. ミラン
おお、栄光の聖母..... L. ナルバエス